

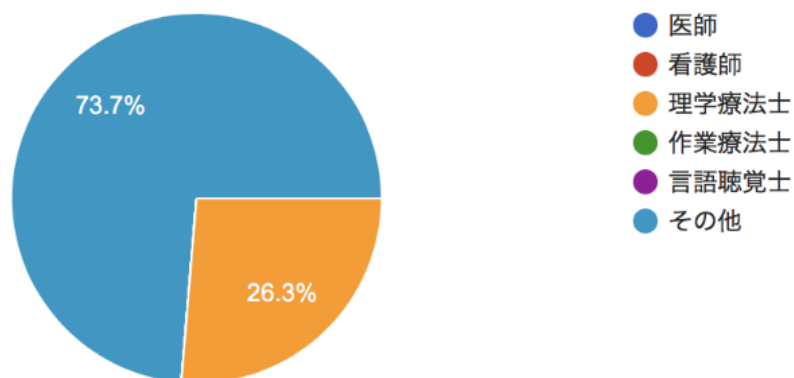
一般社団法人知創研 Webinar アンケート

開催日：2019年4月13日・20日

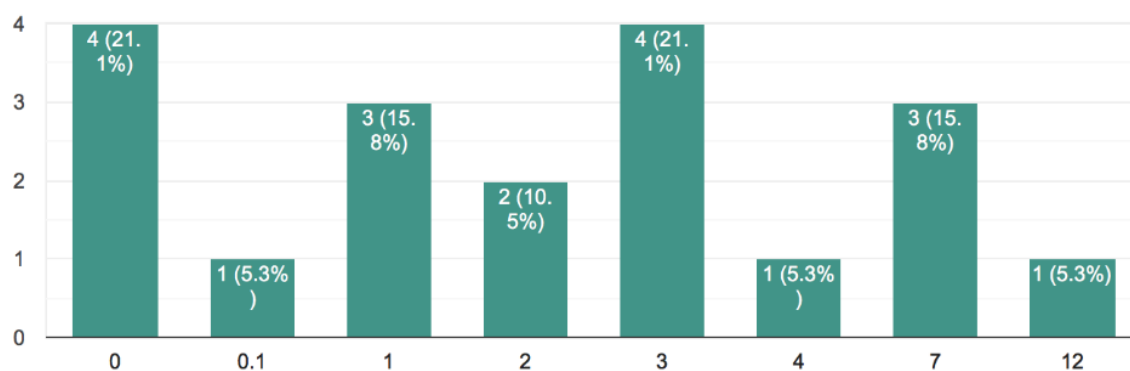
内容：歩行のバイオメカニクスⅠ・Ⅱ

講師：玉利 誠 先生（福岡国際医療福祉大学 / 国際医療福祉大学大学院 准教授）

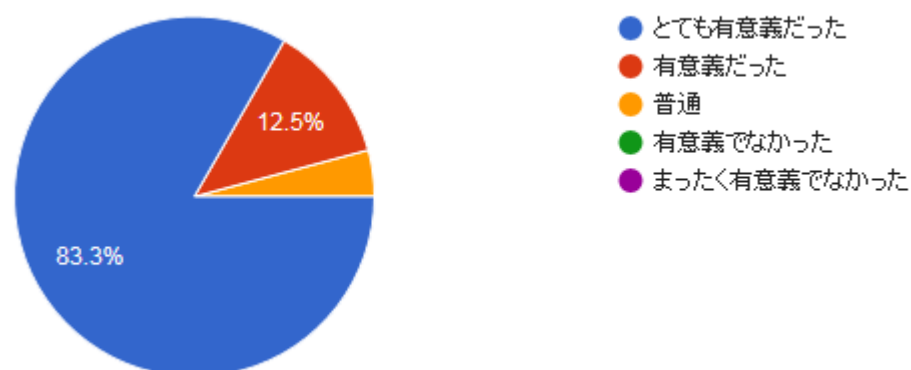
1. 職種



2. 経験年数



3. 本日の内容について



<本日の Webinar についての感想をお聞かせください>

- 自身の視点が増えて、学びになった。
- 正直なところ難しいと感じたところが多かったですが、トレーニングに活かそうだと感じた事もありましたので、まず様々やってみようと思います。
- 分かりやすい説明と丁寧に回答頂きとても良かったです。
- 今まで、モーメントなどは国家試験などで理解せずにこういうものだ無理矢理納得させていたが、初めて関節モーメントを理解することができました。
- 初めての受講の仕方でしたが、とても受けやすかったです。
- とても分かりやすかったです。大変勉強になりました。
- 内容も解りやすく、とても勉強になりました。有り難うございました。
- 資料を見ながらそこに書き込めるような進行だったので今後見直すことが出来るのが良かったです。
- とても良い刺激となりました。今回のお話を聞いてバイオメカニクスのことについて、興味が湧きました。
- 自分が苦手な運動学を教えていただき、とてもありがたかった。
- 大学時代に歩行分析については詳しく勉強したことがありましたが、今回は実際にクライアントの動きを日々見てから学んだので、とてもイメージがしやすかったです。また、物理的な数式も私個人的には分かりやすかったです。
- 弊社のトレーニング歩行に関して抱いていた疑問を理解すると共に、先輩方が疑問に思うことを聞くことができ、とても有意義な時間になりました。立脚期の完全伸展位での重心移動のリスクや捉え方について、私が抽象的に描いていた考えを具体的に解説してくださり、より明確に理解することができました。また、ゴールの選択について、トレーナー自身の意向に留めず、クライアントにしっかりと説明した上で選択したものを尊重していくことは、弊社スタッフの目指すところである『プロフェッショナル』に欠かすことのできないことだと感じました。
- そして、先輩方がたくさん質問をしている姿から、クライアントや仕事に対する熱意を感じ、その背中を追っていく気持ちが高まりました。お忙しい中遅くまで学びの機会をご提供いただき本当にありがとうございました。
- クライアントにすぐに試してみたい内容であったので、また受けてみたいです。
- 実際のクライアント様の動画を使い、ケーススタディとしてセミナーの内容を解説して下さったので分かりやすかった。
- とても分かりやすく有意義な時間となりました。
- 私は解剖の知識がほとんどない未経験者のため、内容が難しく感じられました。
- 貴重なお時間有り難うございました。歩行一つ一つの動作から細かく教えて頂き有り難うございました。
- 自分がこれから何を学んで行くべきかイメージが湧きました。
- 貴重な御講演ありがとうございました。これまで歩行のバイオメカニクスに関して、参考書を利用して学んできましたが、今回の講演でベクトルといった基本的な部分を丁寧に教えてくださったことで理解をより深めることができました。
- 専門用語がわからないところはあつたが、理解したら面白くなってきました。遅くまでありがとうございました！
- 知っている内容もありましたが、改めて再確認ができ非常に良かったです。
- 歩行分析、モーメントのお話しなどお恥ずかしながら細かいところまできちんと理解しないままクライアントのトレーニングを行ってきたことを痛感いたしました。先生が仰ったように「何年もかけて深く理解するもの」ととらえ、今回の学びをきっかけに現場でクライアントの身体を通じて学びを深めていきたいと感じました。
- 今日学んだ事をすぐに実践で行なってみようと感じた。また先生がおっしゃっていた様に全てを理解する事は短時間では無理なので引き続き勉強しようと感じた。

<今後、受講したい Webinar の内容や講師のご希望がございましたらご記入ください>

- 今後、異常歩行を中心にバイオメカニクスで解説を行って頂きたいです。
- 実施の患者さんの歩行動画などを見ながらディスカッションしながら実施してみたいです。
- 玉利誠先生に歩行分析についての講義をお願いしたいです。
- 玉利誠先生
- 実際の歩行の動画を見ながら分析を講義して欲しいです。
- 運動生理学・解剖学と運動学の相関関係について。
- ある運動が生じる時に、解剖学的には骨や筋はどうなっているのか、知りたいです。
- とても抽象的な表現ではありますが、『小脳の運動制御に関するリハビリテーション』について興味があります。弊社のクライアント様は長期間麻痺筋の随意運動を行っていない方がほとんどであるため、痙性を利用して歩行様の動作を再現したとしても、根本的に完全な歩行を再現するための小脳機能は確実に低下しているのではと以前から疑問を抱いていました。いくら神経回路や筋力を改善したとしても、クライアントが究極的に想像する歩行は獲得できないのではないかと考えています。もしそのような勉強会がありましたら、参加させていただきます。
- 立ち上がりや寝返りなどを含めた ADL 向上の内容
- 歩行周期においての各下肢筋群の動員の程度に関してのセミナー
- クライアント様の歩行映像の解説をする時間を多く取りたいです。